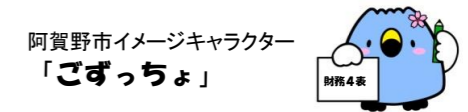


# 平成30年度 阿賀野市の財務書類（概要版）



平成30年度決算について、統一的な基準に基づく財務書類を作成しました。

※「一般会計等財務書類」は一般会計のみ、「全体財務書類」は一般会計等に特別会計・企業会計など地方公営事業会計を加えたもの、「連結財務書類」は全会計に一部事務組合など市の関連団体を加えたものになります。

## 貸借対照表 (BS)

平成30年度末(平成31年3月31日)時点における資産と、その資産形成に必要な財源である負債及び純資産を表したものです。資産に対する将来世代の負担(負債)と過去及び現役世代の負担(純資産)の割合を把握することができます。

一般会計等では、資産は約642億円となっており、そのうち有形固定資産が86.0%を占め、約552億円となっています。負債は約286億円となっており、資産のうち約44.5%が将来世代の負担であることを表しています。純資産は約356億円となっており、資産のうち約55.5%が過去及び現役世代の負担であることを表しています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結		一般会計等	全体	連結
1. 固定資産	60,463	82,126	84,249	1. 固定負債	26,113	40,737	41,161
(1) 有形固定資産	55,242	76,498	77,868	(1) 地方債	21,609	32,183	32,522
① 事業用資産	28,045	35,362	36,575	(2) 退職手当引当金	4,503	4,503	4,589
② インフラ資産	26,644	38,215	38,217	(3) その他	0	4,050	4,050
③ 物品	554	2,921	3,075	2. 流動負債	2,455	3,108	3,134
(2) 無形固定資産	96	98	100	(1) 1年内償還予定	2,092	2,517	2,537
(3) 投資その他資産	5,126	5,530	6,282	地方債			
2. 流動資産	3,750	5,309	5,604	(2) 賞与等引当金	235	262	269
(1) 現金預金	1,369	2,805	2,938	(3) その他	128	328	328
(2) 基金	2,328	2,328	2,490	負債合計	28,568	43,845	44,295
(3) その他	53	176	176	純資産合計	35,646	43,591	45,558
資産合計	64,214	87,435	89,853	負債・純資産合計	64,214	87,435	89,853

## 行政コスト計算書 (PL)

平成30年度中の資産形成に結びつかない行政活動に要した費用と、使用料等の収入の関係を表したものです。官庁会計では捕捉できなかった現金支出を伴わない費用(減価償却費など)も計上しています。

一般会計等では、費用から収入を除いた純行政コストは約173億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
経常費用	17,834	27,929	31,503
1. 業務費用	9,811	12,420	13,020
(1) 人件費	3,482	3,842	3,924
(2) 物件費等	5,990	7,850	8,278
(3) その他業務費用	340	728	819
2. 移転費用	8,023	15,510	18,483
経常収益	486	1,845	1,876
純経常行政コスト	17,348	26,085	29,627
臨時損失	4	4	4
臨時利益	9	46	46
純行政コスト	17,343	26,042	29,585

## 純資産変動計算書 (NW)

平成30年度中の純資産の変動要因を表したものです。純資産の増加は現役世代の負担によって将来世代の負担が減少したことを表し、純資産の減少は反対に将来世代の負担が増加したことを表します。

一般会計等では、純資産は約4億円増加し、本年度末残高は約356億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
前年度末純資産残高	35,295	44,088	46,244
1. 純行政コスト(△)	△ 17,343	△ 26,042	△ 29,585
2. 財源	17,655	25,970	29,414
(1) 税収等	13,418	16,906	18,393
(2) 国県等補助金	4,237	9,064	11,021
本年度差額	312	△ 72	△ 171
その他	39	△ 426	△ 515
(無償所管換等)			
本年度純資産変動額	351	△ 498	△ 686
本年度末純資産残高	35,646	43,591	45,558

## 資金収支計算書 (CF)

平成30年度中の資金の動きを業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支の3つの区分で表したものです。なお、歳計外現金は本表の欄外に表示します。

一般会計等では、資金は約0.4億円増加し、歳計外現金を合わせた本年度末現金預金残高は約14億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
業務活動収支	1,950	2,315	2,315
投資活動収支	△ 1,893	△ 1,830	△ 1,826
財務活動収支	△ 18	△ 167	△ 169
本年度資金収支額	40	318	319
前年度末資金残高	1,201	2,359	2,492
本年度末資金残高	1,241	2,677	2,809

本年度末歳計外現金残高	128	128	129
本年度末現金預金残高	1,369	2,805	2,938

## ●市民1人あたりで計算してみると…

※住民基本台帳人口:42,523人(平成31年1月1日時点)

### 貸借対照表 (BS)

(単位:千円)

	一般	全体	連結		一般	全体	連結
資産	1,510	2,056	2,113	負債	672	1,031	1,042
				純資産	838	1,025	1,071
資産合計	1,510	2,056	2,113	負債・純資産合計	1,510	2,056	2,113

### 行政コスト計算書 (PL)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
経常費用	419	657	741
経常収益	11	43	44
純経常行政コスト	408	613	697
純行政コスト	408	612	696

### 純資産変動計算書 (NW)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
前年度末純資産残高	830	1,037	1,088
本年度純資産変動額	8	△ 12	△ 16
本年度末純資産残高	838	1,025	1,071

### 一般会計等では…

- ・貸借対照表  
1人あたりの資産は約151万円、負債は約67万円となっています。
- ・行政コスト計算書  
1人あたりの純行政コストは約41万円となっています。
- ・純資産変動計算書  
1人あたりの純資産は約84万円となっています。
- ・資金収支計算書  
1人あたりの現金預金は約3万円となっています。

### 資金収支計算書 (CF)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
本年度資金収支額	1	7	8
前年度末資金残高	28	55	59
本年度末資金残高	29	63	66
本年度末現金預金残高	32	66	69

※表中、表示単位未満は四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。